

## 介護職員処遇改善加算制度の充実を図ること等を求める意見書

現在、介護現場では介護職員の離職が後を絶たず、慢性的な人材不足に陥っており、利用者に大きな影響を与えるなど深刻な事態となっている。この大きな要因のひとつは、介護職員の賃金があまりにも低いことにある。

介護職員の平均賃金は全産業平均と比べて月額で約10万円も低く、この処遇改善は長年にわたり課題となっている。

厚生労働省では、介護の現場で働く介護職員の処遇改善を図るため、介護職員処遇改善加算を制度化し、賃金改善に取り組んでいるが、依然として介護職員賃金は全産業平均より低い実態がある。

そこで、介護職員の賃金改善のため、早急に介護職員処遇改善加算制度の充実を図るとともに、介護保険報酬の見直しを検討するなど、事業所が働きやすい職場環境の整備に取り組みやすくする施策の推進を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月17日

栃木県日光市議会

内閣総理大臣  
厚生労働大臣  
衆議院議長  
参議院議長

あて